

2018年度友愛労働歴史館事業計画

友愛労働歴史館は2018年度に、Ⅰ 展示会・講演会活動、Ⅱ 資料の収集・管理作業、調査・研究活動、Ⅲ 情報発信・PR活動などに取り組む。

I 展示会・講演会活動について

1. 展示会（常設展・企画展）活動

①企画展について

2018年1月5日から開催中の企画展「戦後民主化のリーダー 片山哲」(2018.1.5～6.29)を、6月29日まで開催する。

7月6日からは企画展「松岡駒吉一戦前期、一筋に労働者の利益を守った男」(2018.7.6～12.21)を開催する。2018年は松岡駒吉(1888.04.08～1958.08.14)の生誕130年・没後60年、そして松岡が主導した野田醤油争議から90年に当たる。友愛労働歴史館はこれを記念し、企画展「松岡駒吉」を開催する。同展で松岡駒吉の70年の生涯を紹介するとともに、野田醤油争議に言及しつつ、松岡駒吉が主導した労働者の利益を守るための現実主義労働運動について解説する

2019年1月7日からは企画展「全労会議と滝田実、和田春生」(仮題。2019.1.7～2019.6.29)を開催する。

②常設展について

常設展「日本労働運動の100年余—友愛会・総同盟(戦前)を中心とする」は、必要なメンテナンスを行いつつ、同一テーマで引き続き通年開催する。

2. 講演会活動

友愛労働歴史館は企画展と連動させた講演会・労働講座を、労使関係研究協会もしくは他団体と共催している。2018年度は以下の講演会を開催する。

①名称：友愛労働歴史館・労使関係研究協会共催講演会

とき：2018年5月24日(木)14:00～16:00

ところ：友愛労働歴史館・研修室

テーマ：「片山哲—日本民主化のリーダー」

講師：梅澤 昇平 友愛労働歴史館研究員、元尚美学園大学教授

②名称：友愛会創立記念労働講座(友愛会創立を記念する会と共催)

とき：2018年8月1日(火)10:30～11:45

ところ：友愛労働歴史館・研修室

テーマ：「松岡駒吉と野田醤油争議」(仮題)

講師：石井 一彦 郷土史研究者・『ぼくたちの野田争議』著者

③名称：友愛労働歴史館・労使関係研究協会共催講演会

とき：2018年10月又は11月

ところ：友愛労働歴史館・研修室

テーマ：「総同盟の団体協約締結運動―松岡駒吉と東京製綱―」（仮題）

講師：未定

II 資料の収集・管理作業、調査・研究活動について

友愛労働歴史館は年間を通し、資料・管理に取り組んでいく。また、必要な調査・研究活動に取り組んでいく。

1. 資料の収集・管理

友愛労働歴史館は連合資料室、社会・労働関係資料センター連絡協議会（労働資料協）と連携し、①友愛会から連合までの民主的労働運動、②社会民衆党から民社党までの民主的社会主義運動、③福澤諭吉や安部磯雄らユニテリアンゆかりの社会運動に関する資料の収集・管理に取り組み、また管理・保存に取り組む。

2. 調査・研究活動

友愛労働歴史館は、常設委員会として「ユニテリアンと社会運動研究会」、「政治・社会運動史研究会」の二つの常設委員会を設置し、調査・研究活動を行っている。2018年度は政治・社会運動史研究会を中心に研究会活動を続けていく。

III 情報発信・PR活動について

友愛労働歴史館は情報発信・PR活動として、2018年度に以下の取り組みを行う。

- ①インターネットを利用したメールレポート「友愛労働歴史館たより」の発信
- ②友愛労働歴史館ホームページ HP での情報提供・PR活動
- ③非公式ツイッター（@yuairekishi1912）の活用によるPR活動
- ④インターネットのアドレス登録者を対象とする情報提供、PR活動

IV その他

- ①友愛会創立を記念する会（毎年8月1日）の活動に協力し、友愛会創立記念労働講座を開催する。
- ②NPO法人働く文化ネット（総評会館）の労働映画鑑賞会（毎月1回・第二火曜日）に参加、協力していく。
- ③労働運動・社会運動関連資料のリユースに取り組んでいる労働資料協（社会・労働関係資料センター連絡協議会）の活動に参加していく。

以上